

鏡川流域パートナーシップだより No.144 R6.6.3



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川流域の里山を楽しむ！「里山歩きとホタルのタベ in 久重」



6月1日(土)、「**里山歩きとホタルのタベ in 久重**」を開催し、親子38名が参加しました。(主催：高知市工石山青少年の家 共催：高知市新エネルギー・環境政策課)

豊かな自然が広がる久重地域で、里山散策やホタルウォッチングなどを行い、昼と夜でそれぞれ異なる魅力を持つ里山の風景を楽しむひとときとなりました。

参加者の澤田圭史さんから、ご自身が撮影した**ホタル**の写真をご提供いただきました！

日中は、草花を採集しながら里山散策！久重地域連携協議会里山部会の橋詰辰男さんたちの解説を聞きながら、里山の植物を集めていきます。採集した草花で「**里山ビンゴ**」に挑戦！



夕方から、久礼野公民館で学習会を行いました。橋詰さんからは久重地域の里山保全について、石川憲一先生(高知県立高知海洋高等学校・高知県ホタルネットワーク)からはホタルの生態についての講義がありました。久重地域の小中高生たちで結成された「**久重 natural チーム**」の活動発表は、**久重の里山を将来に残したい**という生徒の皆さんの思いが詰まった内容でした。

「ぼっちり」のスポット「工石山青少年の家」からイベント限定の体験チケットを発行し、関わりを可視化しました♪

6/1開催「里山歩きとホタルのタベin久重」へのコメント募集！
+200 もらう
工石山青少年の家

【6月1日 里山歩きとホタルのタベin久重限定】里山ビンゴ達成した人！
+100 もらう
工石山青少年の家

参加者の方々からのコメント (一部抜粋)

「ホタルを手のひらにのせてみる事ができ、貴重な体験ができました！」
「地元の子どもの話など、どれも興味深かったです。環境についても考えるきっかけになりました」
「植物にしっかりと向き合えたことに感謝！」



会場に貼られたQRコードを読み取り、ぼっちりをゲット！



鏡川上流域に位置する久重地域の里山の風景を、地域の方々と一緒に将来につないでいきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android